

第24回大分県肝炎医療コーディネーター研修会（初オンライン）

見えてきた！？
肝炎医療コーディネーターのこれから・・・
～私たちにできること～



大分大学医学部附属病院
肝疾患相談センター 看護師藤田幸子
2020年6月25日

本日の内容

- 大分県の肝炎対策（組織）
- 県内の肝炎医療コーディネーターの状況
- 肝炎医療コーディネーターの役割

大分県の各施設ごとの活動内容

- 拠点病院（大分大学医学部附属病院）の院内拾い上げの特徴
- 肝炎医療コーディネーターの活動と問題点
- マイクロ（小さな範囲）エリミネーション（排除する）への取り組み

大分県における肝炎対策

大分県肝炎対策協議会



大分大学医学部附属病院
肝疾患相談センター



肝疾患診療連携協力病院

北部医療圏

中津市民病院
宇佐高田医師会病院
宮田内科医院

東部医療圏

別府医療センター
新別府病院
厚生連鶴見病院

西部医療圏

岩尾病院

中部医療圏

アルメイダ病院
大分医療センター
大分県立病院
大分赤十字病院

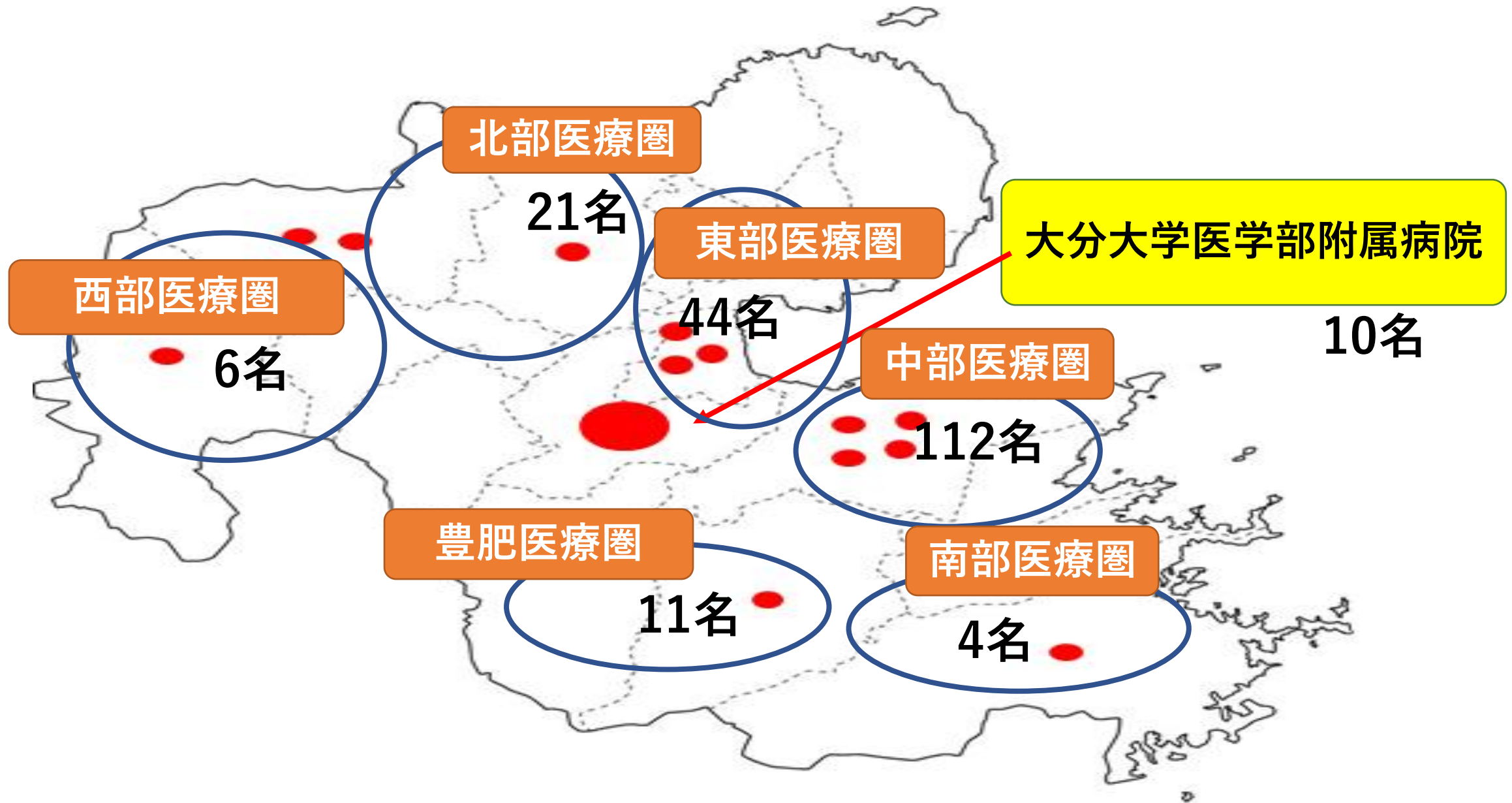
南部医療圏

南海医療センター

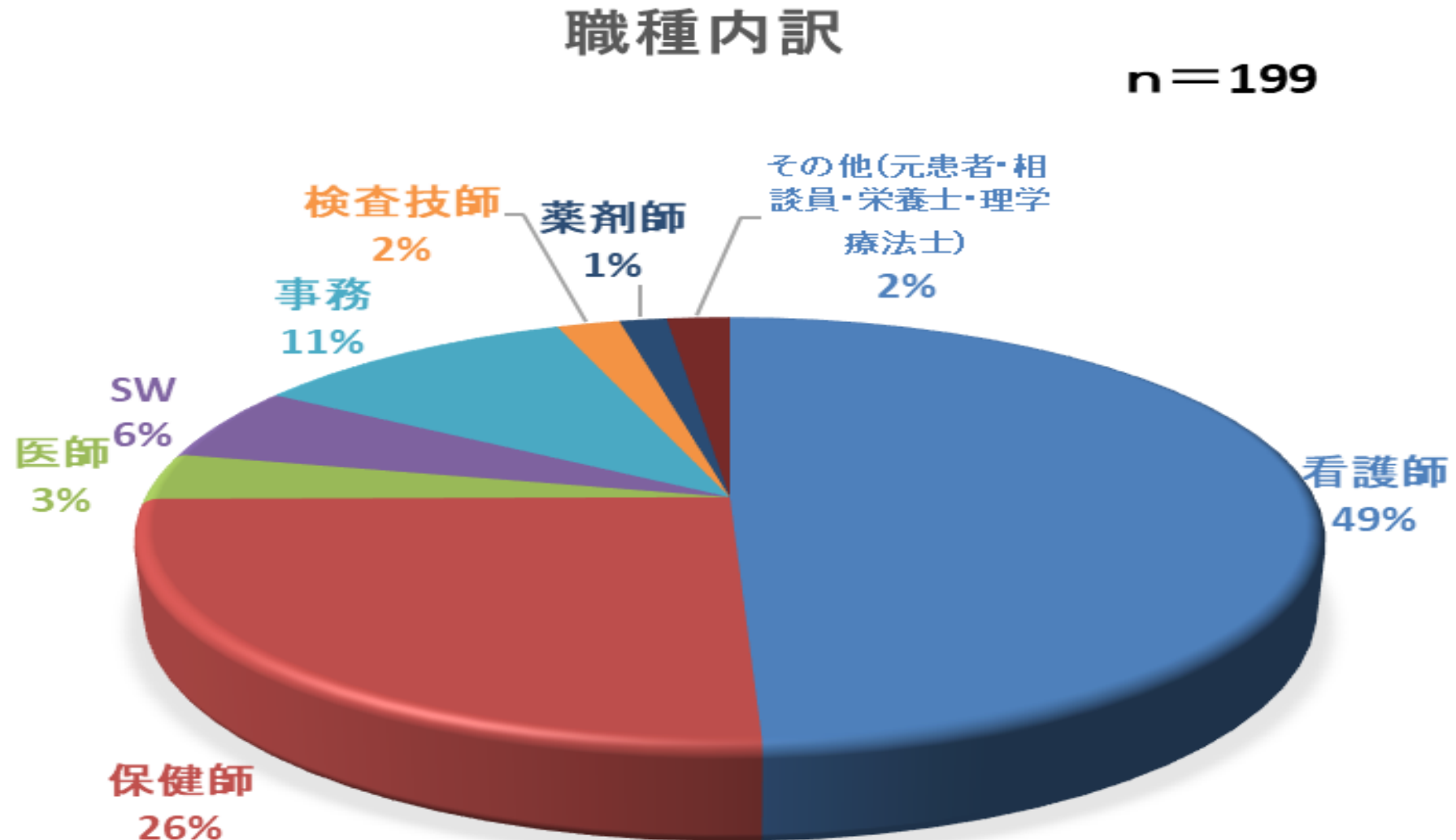
豊肥医療圏

豊後大野市民病院

大分県の肝炎医療コーディネーターの分布



大分県のCOの職種内訳



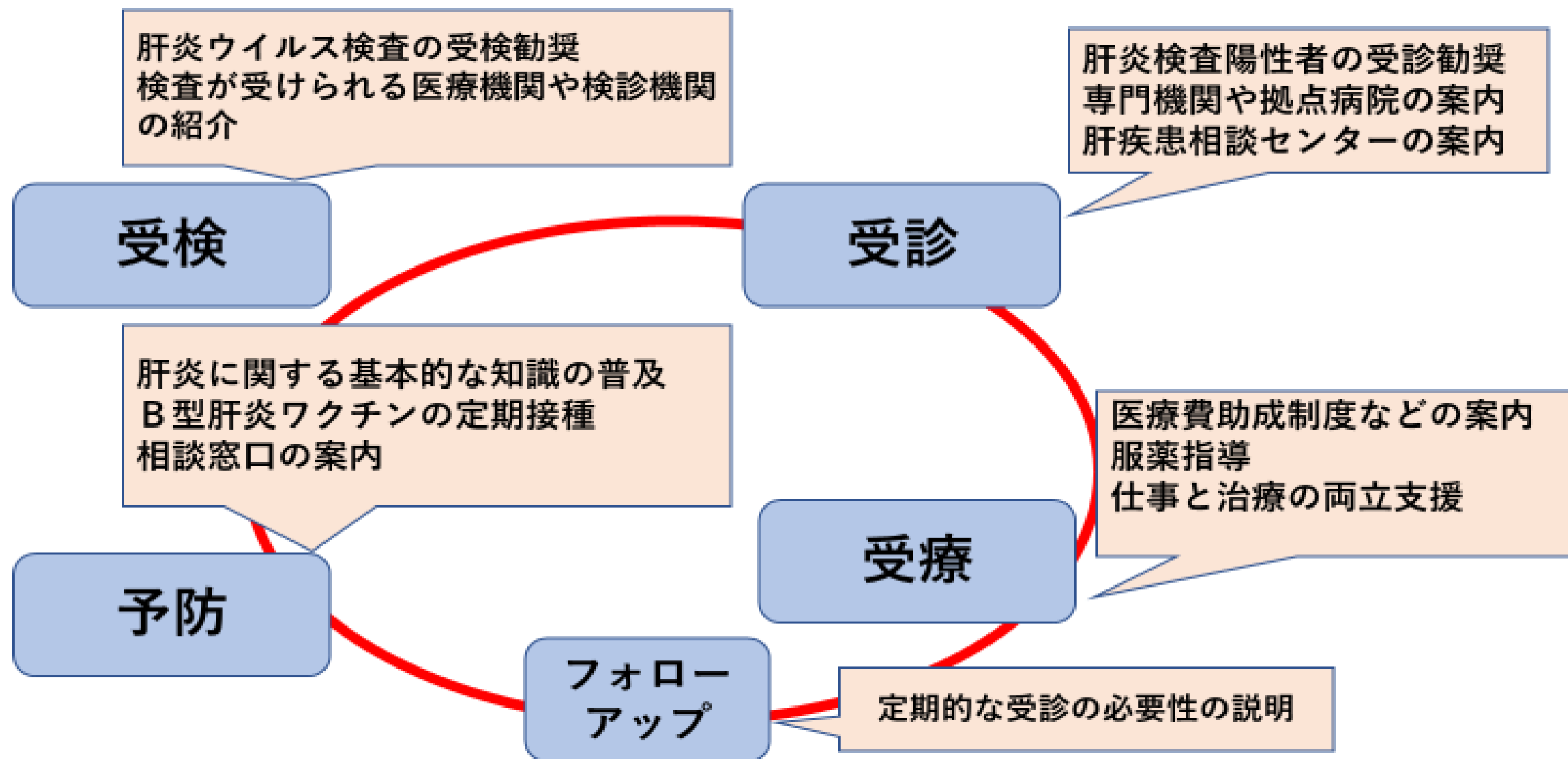
肝炎医療コーディネーターの誕生の経緯と目的

肝炎対策基本指針の目標：「肝硬変・肝がんへの移行者を減らす」

問題点：検査を受けていないために感染に気付いていない人
感染を知っていても治療に至らない人
治療を中断している人

目的：肝炎に対する受検・受診勧奨や検査後のフォローアップなどの支援
を中心に進める人材を養成すること

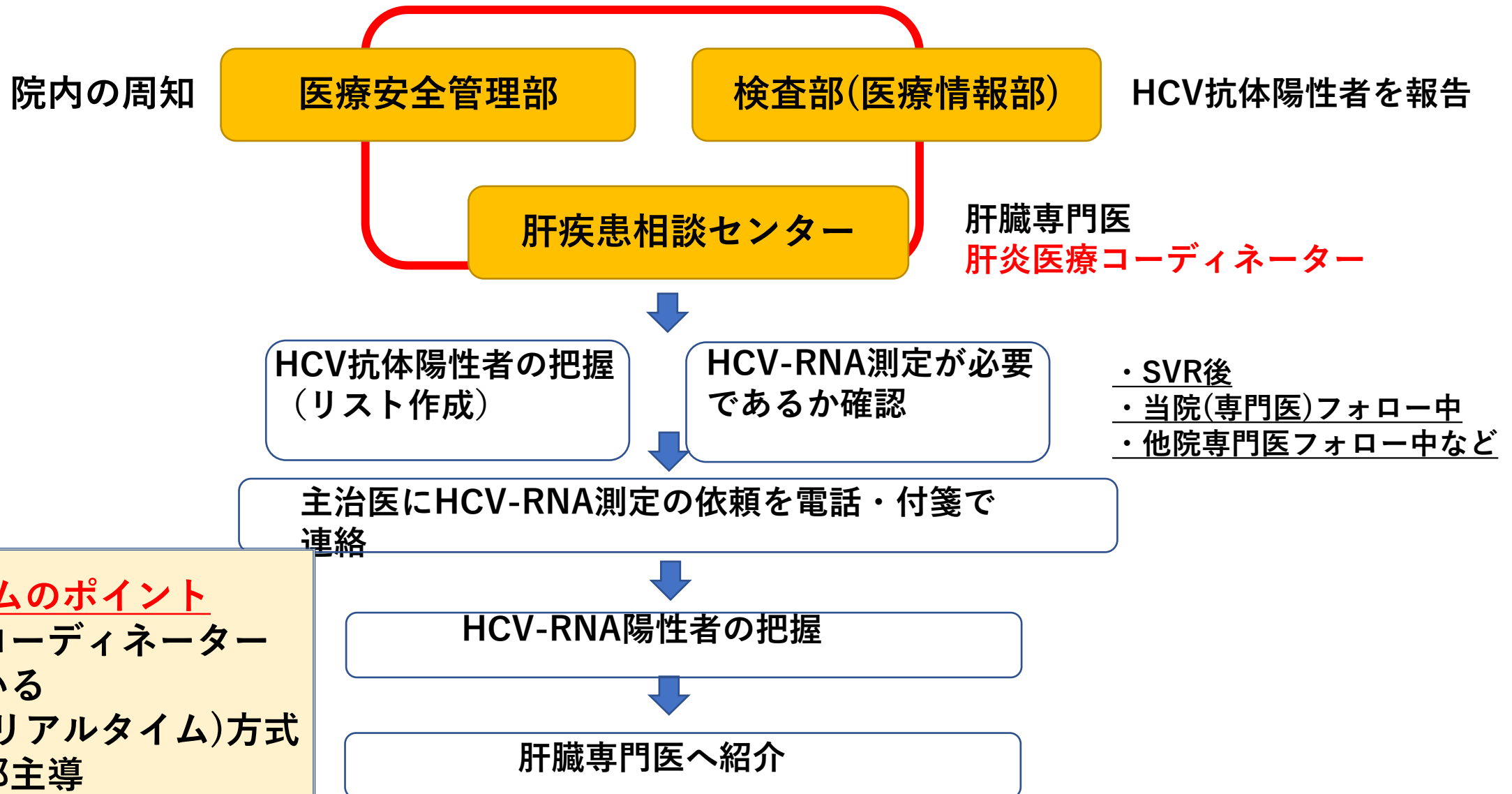
肝炎医療コーディネーターの役割



各施設ごとの活動内容

- 拠点病院型：院内のシステム作りと県内の連携
- 一般病院クリニック型：陽性患者の把握と専門医への紹介
- 検診保健師型：肝炎シールの活用と無料検査の推進 世界(日本)肝炎デーに合わせ啓発
- 行政保健師型：受診勧奨、生活指導
- 透析クリニック型：肝炎患者の把握が進んでおり、新規薬剤による治療促進等の情報提供
- 専門病院型：院内における非専門科の陽性患者の把握と院外のかかりつけ医との連携
- その他：相談 啓発活動

大分大学医学部附属病院における院内拾い上げの活動内容



HCV抗体陽性者拾い上げシステムの結果（2019/4/1～2020/3/31）

コーディネーターの関わり
症例：1～2症例/日
時間：3分～20分/日

HCV抗体測定数 8425症例（平均702例/月）
HCV抗体陽性症例 227症例（平均19人/月）

えー何？、その検査
どこから入れるの

入院した時、
担当医に言って

連絡ありがとうございました。

ウイルスは検出せず
だったんですがどう
いうことですか

付箋で
対処済

SVR後
他院でフォロー中
紹介状に記載あり
過去の検査結果でHCV-RNAが陰性と確認

肝炎医療
コーディネーター

HCV抗体陽性227例

HCV-RNA測定必要94例

主治医に電話連絡・
付箋入力

肝炎医療
コーディネーター

HCV-RNA測定88例（95.6%）

HCV-RNA陽性22例（23.4%）

HCV-RNA陰性64例

C型肝炎治療開始7例（7.4%）

他院で治療開始5例 今後治療予定2例
肝臓内科に対診後、現時点での治療適応なしなど

HCV-RNA未測定6例（6.3%）

入院前
他院での検査依頼
検査拒否1例

把握率99%←（97.6%）

肝炎医療コーディネーターの活動と問題点

ポスター掲示

受検勧奨

チラシの配布

肝炎に関する基本的な知識の普及
B型肝炎ワクチンの定期接種
相談窓口の案内

予防

アルコールに関する問題が
あれば受診歴を確認し医師
へ報告

相談件数の
減少

肝炎医療コーディネーターの活動と問題点

肝炎ウイルス検査の受検勧奨
検査が受けられる医療機関や検診機関

チラシの配布

受検者にリーフレット・シールを渡す

検査結果の説明
(陰性)

40歳の全市民に
ハガキで受診勧奨

結果の説明とシールの
記入・貼付の依頼

特定保健指導時の
受診勧奨

協会けんぽの肝炎
ウイルス検査の
申込書の簡素化

肝炎ウイルス検診を受ける
機会が複数あるため
実態把握ができない

検査助成金の差により
無料検査以外の人には
勧めにくい

肝炎シールの活用を広め
自己管理できるようにしたい

検査を受けていても自分が
陽性なのか陰性なのか
わかっていない

肝炎医療コーディネーターの活動と問題点

健診結果を持参した
人へ肝炎検査の説明

医療費助成
制度の説明

(看護師・SW)

1週間に1度検査科より
データーを受け取り未治
療の人をピックアップ

(事務)

HCV抗体陽性者のカル
テチェック・検査追加
や専門医の受診依頼と
アラート処理

陽性者の専門
医療機関への相談

診察時の介助

受診

肝炎検査陽性者の受診勧奨
専門機関や拠点病院の案内
肝疾患相談センターの案内

救急外来や短期入院の患者
さんのHCV抗体陽性者の把
握にタイムラグが生じる

(SW)

認知度が低く
活動しづらい
施設全体で拾い上げを
行おうとする姿勢が
ないと難しい

業務の合間に行って
いるが時間内に行え
ないことがあり残業
となってしまう

肝炎医療コーディネーターの活動と問題点

栄養相談
(栄養士)

医師からの治療内容
の説明を再度行っ
ている

C型肝炎に対する
不安の傾聴

医療費助成制度の案内
(看護師・SW)

肝炎治療後の管理の
必要性の説明

治療に対する医師
の説明をメモに
して渡す

医療費助成制度などの案内
服薬指導
仕事と治療の両立支援

受療

手術室や外科で勤務して
いるので何ができるのか

肝炎医療コーディネーターの役割

インボディ測定
(栄養士)

肝臓教室
(栄養士)

知識の習得を
希望

肝炎治療後、定期受診を
中断する患者への説明が
できない (看護師)

完治したと思っている人が多い。
年に1回の検査を
実施しておらず放置 (保健師)

フォロー
アップ

定期的な受診の必要性の説明

肝疾患相談センターとしての今後の取り組み

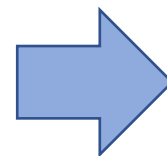
I：研修会の開催

- ①県外で積極的に活動されているコーディネーターを講師に招く
- ②患者さんの立場から、お話を聞く機会を設ける（コーディネーターに期待する事）

II：マイクロエリミネーションの継続

マイクロエリミネーションの取り組み

マイクロ：小さな範囲
エリミネーション：排除する



確実な把握
肝炎撲滅へ

2020年1月に大分県内透析72施設へアンケート調査を実施

質問内容：HBs抗原陽性者の数
HCV抗体陽性者の数

⇒HCV-RNA測定者の数

⇒HCV-RNA陽性者の数

⇒すでに抗ウイルス療法が終了している人

⇒今後抗ウイルス療法を予定している人

HCV-RNA測定への働きかけ

治療促進の働きかけ

令和 2 年 4 月 13 日

〇〇殿

人工透析部門 担当者殿

HCV-RNA 陽性患者様の治療促進のお願い

肝炎ウイルス感染対策におかれましては、平素から格別のご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

先日の「肝炎ウイルス感染者の調査について（依頼）」のご協力、ありがとうございます。

ご回答頂きました貴院の HCV 抗体陽性者 4 人のうち、HCV-RNA を測定し HCV-RNA が陽性の人が 1 人いますので、一度専門医の受診を勧めていただきますと幸いです。治療の進歩により、現在では透析患者様にもほとんど副作用なくほぼ 100% 治癒する内服加療が可能となっております。肝臓専門医が在籍する病院と肝疾患診療連携病院のリストを同封いたします。不明な点がありましたら、いつでもご連絡ください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

大分大学医学部附属病院肝疾患相談センター

遠藤・藤田

令和 2 年 6 月 2 日

〇〇殿

人工透析部門 担当者殿

HCV-RNA 陽性者への治療促進の依頼

肝炎ウイルス感染対策におかれましては、平素から格別のご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

先日「HCV 抗体陽性者の HCV-RNA の測定の依頼」をさせていただきましたが、その後 6 名の HCV-RNA の結果はいかがだったでしょうか。もし、HCV-RNA の陽性者がいましたら、是非この機会に肝臓専門医の受診を勧めていただきますと幸いです。再度肝臓専門医が在籍する病院と肝疾患診療連携病院のリストを同封させていただきます。紹介の際は、紹介状も同封していますので、この用紙をお使いいただけますようお願い申し上げます。不明な点がありましたら、いつでもご連絡ください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

大分大学医学部附属病院肝疾患相談センター

副センター長 遠藤

看護師 藤田

事務 藤田

肝臓専門医の在籍する医療機関

大分市	※ 大分県立病院	加藤有史、宇都宮徹、寺師貴啓、高木 崇、岩津伸一
	* 国立病院機構大分医療センター	山下 勉、大塚雄一郎、室 豊吉、水内梨絵
	アルメイダ病院	和田蔵人
	有田胃腸病院	寺尾英夫、所 征範
	えとう内科病院	松永研一
	岡仁会大分共立病院	下山孝俊
	織部病院	首藤能弘
	※ 大分赤十字病院	成田竜一、福澤謙吾、岩城堅太郎
	大分循環器病院	清家正隆、高橋祐幸、西村順子
	大分健康管理センター	針 里栄
宇佐市	織部消化器科	織部淳哉
	西村内科クリニック	西村大介
	仁友会森内科医院	森 哲
	米満内科医院	米満春美
	井野辺病院	石松俊之
	宇佐高田医師会病院	石田健朗
	宇佐中央内科病院	徳光陽一郎
	白杵市	白川典子
	国東市	朝倉康景
	佐伯市	井上雅公
中津市	杵築市	小野隆司
	※ 中津市民病院	横田昌樹、永田茂行、大森 薫、梅野成大
	中津第一病院	高橋健二郎
	久持医院	久持颯子
	日田市	岩尾 忠
	新関内科	新関 修
	豊後大野市	棚橋 仁
	帰巖会みえ病院	松山幸弘
	豊後高田市	坂本啓二
	別府市	川中博文、鶴田 悟
由布市	※ 国立病院機構別府医療センター	大河原均
	・ 大分県厚生連鶴見病院	
	* KKR 新別府病院	香川浩一、後藤康彦
	※ 大分大学医学部附属病院	本田浩一、遠藤美月、荒川光江、岩尾正雄、
		平下禎二郎
	玖珠郡玖珠町	麻生隆良
	麻生消化器科内科	

◆肝疾患診療協力医療機関				
【概要】				
「大分県では2次医療圏に肝疾患診療協力病院を設置しています。肝臓専門医あるいは消化器専門医がウィルス肝炎・肝がんの診療にたずさわっています。」				
肝疾患診療協力医療機関		住 所	TEL	FAX
東部医療圏	独立行政法人国立病院機構別府 別府医療センター	〒874-0011 大分県別府市大字内竈1473番地	0977-67-1111	0977-67-5766
	国家公務員共済組合連合会 新別府病院	〒874-0833 大分県別府市 大字鶴見3898番地	0977-22-0391	0977-26-4170
	大分県厚生連 鶴見病院	〒874-8585 大分県別府市大字鶴見4333番地	0977-23-7111	0977-23-7884
中部医療圏	大分市医師会立 アルメイダ病院	〒870-1133 大分県大分市大字宮崎1509-2	097-569-3121	097-568-0743
	独立行政法人国立病院機構 大分医療センター	〒870-0263 大分県大分市横田2-11-45	097-593-1111	097-593-3106
	大分県立病院	〒870-8511 大分県大分市大字豊饒476番地	097-546-7111	097-546-0725
	大分赤十字病院	〒870-0033 大分県大分市千代町3丁目2番37号	097-532-6181	097-533-1207
	宇佐高田医師会病院	〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635	0978-37-2300	0978-37-2307
北部医療圏	中津市立中津市民病院	〒871-0011 大分県中津市大字下池永173番地	0979-22-2480	0979-22-2481
	宮田内科医院	〒871-0015 大分県中津市大字牛神432	0979-22-3375	0979-22-0253
豊肥医療圏	豊後大野市立豊後大野市民病院	〒879-6692 大分県豊後大野市緒方町馬場276番地	0974-42-3121	0974-42-3078
南部医療圏	独立行政法人地域医療機能推進機構 南海医療センター	〒876-0857 大分県佐伯市常盤西町11番20号	0972-22-0547	0972-23-0741
西部医療圏	医療法人鶴陽会 岩尾病院	〒877-0012 大分県日田市淡窓2丁目4-29	0973-22-6161	0973-22-6258

C型肝炎診療情報提供書

年 月 日

紹介先医療機関

______ 病院 _____ 科

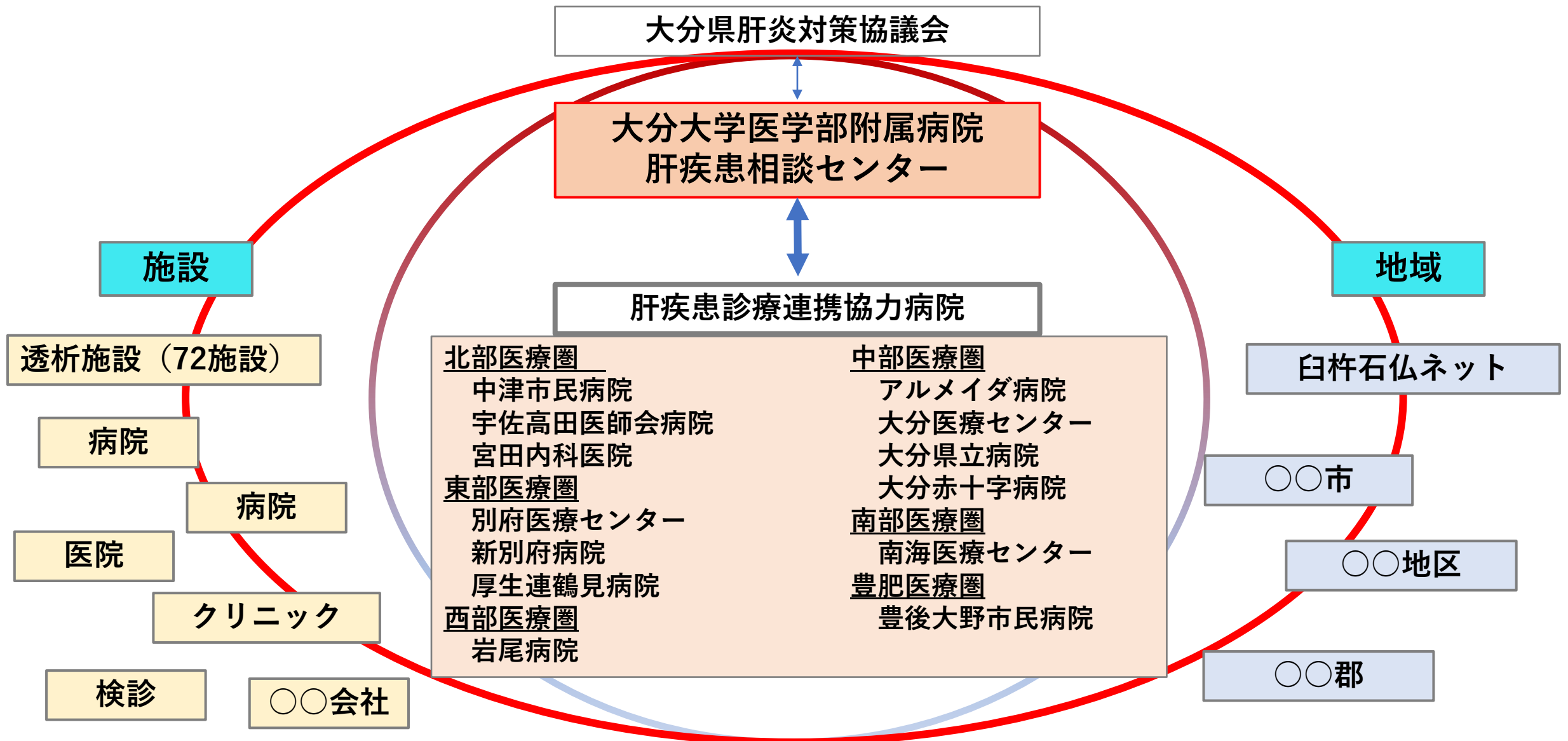
先生

紹介元医療機関の所在地	
名称	
電話番号	
医師氏名	印

患者氏名	性別 男・女		
患者住所	電話番号		
生年月日	年	月	日
年齢	歳		

傷病名 ・ C型肝炎 ・その他の病名 () 紹介目的 (□にチェックしてください) ☐ C型肝炎の抗ウイルス治療適応の判断および治療における診療連携 ☐ follow up に関する助言 症状経過および検査結果 HCV 抗体 陽性 HCV RNA (リアルタイム RCR 法) _____log IU/ml (測定していなければ記入不要です)
現在の処方
抗ウイルス治療が必要な場合の治療および治療後の follow up に関する希望 () 治療および follow up とも紹介先に任せる () 自院で治療および follow up を行う () 紹介先と自院で連携して治療および follow up を行う () 紹介先で治療を行い、follow up は自院で行う () その他 ()
備考

大分県における肝炎対策



まとめ

- ①大分県は県内全域に肝炎医療コーディネーターが存在している
- ②肝炎医療コーディネーターはそれぞれの施設特徴にあった活動を行っているが問題点もあった
- ③（C型）肝炎撲滅のために、協力病院の肝炎医療コーディネーターは院内のHCV抗体陽性者の拾い上げに関わっていく
- ④県内全体の（C型）肝炎撲滅のためにマイクロエリミネーションの取り組みを継続する

課題

- ①施設に応じた肝炎医療コーディネーターの活動を環境づくりを含めて継続していく
- ②肝炎シールを活用した、結果の説明



ご清聴ありがとうございました



体調に気をつけて、乗り切りましょう